

当院では以下の研究を実施しております。

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

## 急性胆管炎における細菌培養結果からみた抗菌薬選択と内視鏡的逆行性胆管膵管造影の有用性についての検討

### 1. 研究の対象

2013年4月1日から2023年3月31日までに湘南鎌倉総合病消化器病センターで、内視鏡的逆行性胆管膵管造影（Endoscopic retrograde cholangiopancreatography : ERCP）を受け、かつ血液培養または胆汁培養を実施した胆管炎患者さま

### 2. 研究目的・方法

本研究の目的は、胆管炎に対して早期に ERCP による胆管減圧術を施行できるのであれば、狭域抗菌薬を使用し、それが結果として投与抗菌薬に対する耐性菌が検出されたとしても、予後には差がないことを確認し、抗菌薬の過剰使用を抑えることの安全性を確認することです。そのため、早期 ERCP を受けた中で、血液培養又は胆汁培養陽性の患者さまを対象として、入院期間や入院中の死亡率を評価いたします。

研究実施期間：当院院長承認後～2023年5月31日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、基礎疾患、胆管炎の原因、重症度、受診から ERCP までの時間、投与抗菌薬、入院期間、院内死亡、入院時の胆管ステント留置の有無、過去3ヶ月以内の入院または抗菌薬投与歴、多臓器不全の有無 等

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さまもしくは患者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

湘南鎌倉総合病院 消化器病センター

研究責任者 増田 作栄

住所： 〒247-8533 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1

電話番号: 0467-46-1717（代表）